

平成27年度社会福祉法人美咲会 事業報告書

平成27年度事業は法人役員並びに職員の積極的事業推進の努力により、施設運営は地域福祉の拠点として概ねその役割を担うことができたと思っております。

特に重点事業として取り組んだ高齢者、障害者の重度化対応や、利用者サービスの充実と家族連携、施設建物の老朽化に伴う各所修繕や備品などの入替え、地域貢献活動の推進、さらには施設利用者及び職員の健康管理上から多年推進してきた禁煙活動も各事業所すべてが禁煙宣言を行うことができ、禁煙事業所として県より認定マークをいただく運びとなったことは大きな成果であり、記念すべき年度となりました。

財務収支も健全に推移しており、平成27年度から移行された新会計基準への取り組みの中で、今後収支活動費性別区分と併せ、事業活動費の計画表示などが今後の課題と受け止めて、平成28年4月1日から施行される社会福祉法一部改正に伴って平成29年度から具体化される財務諸表のあり方、整備を急ぐ必要があるため、事務局を中心に体制見直しに取り組むよう次年度への課題提示を行います。

また、直近の課題は老人ホームの職員雇用が極めて厳しい状況下であり、繰り返し職員募集に努めているところでありますが、全国的全体的に高齢者介護施設の雇用人材確保は深刻で、今後職員の処遇改善を含め、改めて人材確保の対応に努める必要があります。

また、近年福祉施設事業所が急増し、デイサービス事業、短期入所事業については利用者確保といった競争化が進行しており、その対応と取り組みが課題となっています。

このような平成27年度の事業総括の上に立って、平成28年度は各般にわたる点検、検証に努め、新時代へ向かって当法人がさらに地域の期待と信頼が得られるよう決意をもって諸事業推進を図る所存であります。